



NO.968

2014/5/4

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四五七

市議会 生活・福祉委員会が開かれる

市議会 生活・福祉委員会は、4月30日午後1時から開かれ、今年1月6日から3月24日まで実施した平成25年度網走市灯油価格高騰緊急対策事業（福祉灯油）の実施結果について報告がありました。

ひとり親世帯 221件、決定167件
申請率75.57%

生活保護世帯442件、決定385件
申請率87.10%

合計
対象3,356件、
決定2,620件、
申請率87.07%

(1) 受付件数及び決定件数では、対象件数3,356件で前年より138件の増加、総受付2,710件、決定数2,620件、非該当90件となりました。

(2) 部門別決定件数及び申請率では、高齢者世帯対象世帯 2,433件、決定世帯数 1,849件、申請率 76.00%、障がい者世帯 260件、決定219件、申請率 84.23%

となりました。昨年より75件増加していますが、対象世帯数が138件増加していることから全体としては0.99ポイント下がたとの報告でした。

松浦議員は、過去の決定状況などと比較して、どのように評価しているかと質問。それに対し概ね過去の状況と変わらないとの答弁でした。

また、これからの課題として、灯油券以外の支給方法についての検討を求めました。

網走原水協からのお知らせ 国民平和大行進 網走コース出発式

広島・長崎の原爆投下から69年目の夏を迎えようとしています。今年も2014年国民平和大行進 網走コースの出発式が5月6日（火）午後1時30分から保健センター駐車場で行い、網走駅まで行進します。

国民平和大行進は「ノーモア ヒロシマ・ナガサキ」「なくそう！核兵器」の思いを込めて行進するものです。



出発式には、通し行進者をはじめ、各団体・個人のどなたでも参加できます。核兵器をなくすため、一歩でも2歩でも、ごいっしょに歩きましょう！

と原水爆禁止網走協議会は呼びかけています。

いっせいで東奔西走

暑かったり、寒かったり、の天気が続くこの頃ですが、先日、友好都市の山形県天童市に市長とともに市議会の代表として再盟約の調印と交流を兼ねて行って来ました。

59回を迎えた天童桜まつりの真っ只中にお邪魔しましたが、当市からカニの鉄砲汁を1200食提供のテントは初日から行列が幾重にもなり大盛況、大好評でした。

天童市は将棋駒の生産量日本一を誇り、将棋駒のふる里でもあります。その歴史は江戸時代末期までさかのぼり、天童織田藩の財政救済のため「将棋は兵法戦術にも通じ、武士の面目を傷つける内職ではない」との理由から奨励発展したといわれています。

今回行った桜まつりの最大イベントの人間将棋は、戦の決着を将棋でつける平和的解決方法で、1日目は地元高校生の出演でしたが、2日目の駒要員は全国からのリピーターによる希望者で、その人気度が伺い知れます。

町中を流れる川沿いで「しだれ桜まつり」も3回目を迎え、ライトアップに映えるしだれ桜の美しさは見事で天童市民の心意気を感じました。

松浦奮戦メモ

今年の春は、寒い日が続いたり暑い日が続いたり、この時期に流水が戻ってきたりと、昨年の春を思い出させる天気模様でした。

先日も、別な用事で同じところに行くところを一部を除いてほとんど雪がなくなっていました。

今週には、トラクターが動いている様子もみられるようになりまし。また、日当たりの良いところではツツジが咲きはじめ、こぶしの花も咲きはじめています。わが家の桜のつぼみも膨らみが大きくなりはじめ連休明けには咲くのではないかと期待をしています。

春は草木が芽吹き希望が持てる気がするので、私は春が大好きです。なんとか天気が続き、春の蒔きつけが順調に進むように願っています。

流水

「……私は騙されない！」「黙らない……」と、パリ在住の娘からメールが来たのは、昨年の12月半ばだった。強引に数の力で「特定秘密保護法」を通してしまったあの放映は、どこの国か？と疑いたくなつた程のシヨックを思い出す。メールは続く「……恐ろしい法律・秘密保護法が成立してしまいました。戦前に戻って醜い時代になつてしまふ！本格的に、日本へフィリップ（婿殿）と自由に行けなくなるかも知れない、と考え始めています。そうならないようには私は思い続けるが、現在でも日本国民の大方の願いでしょう。誰も望んでいない原発をまた再稼働させようとしたりする「国家のための国」になつてきたので（国民のためではなく、恐ろしい。それでも私は騙されない・黙らないつもりですが、ますます日本の現状と「わたし」の存在が遠いものになつてきています。……）▼このメールを読んだ時、同じような状況にいる世界中の方々が不安を持ったに違いないと思つた。それにしても娘の不安な気持ちや響いて胸苦しい。▼雪が解け、暖かくなつて署名活動をK子さんと始めた。もちろん、特定秘密保護法の撤廃を求める「請願」で、訪問した反応は様々で、「戦争とこれはダメ」「戦争ができる国につながるから」と、快く書いてくれる方、「それは賛成しますから」という方、「よくわからぬので」と、いただけなかつた方。時間がたてば薄れていく感覚を、怖いとおもう。しかし、署名活動で私たちが学ぶことが多く、また、次の署名活動をとと思った。（て）